

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

## 2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め  
御旨にかなう道を備えてくださる。」  
(詩編 37 編 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第3・午後2時)  
●夕の祈禱会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65  
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3  
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3  
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>  
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計  
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

# 3214 2026 年 6 月 14 日

## 礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 4 主日)

司 式 者 井 殿 準  
奏 楽 者 宮 崎 由 紀 子

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 113: 1b ~ 3	司 式 者
讃 美 歌	3 9 2 「主の強い御腕よ」	一 同
聖 書	使徒言行録 16: 16 ~ 24 (新 P. 245)	司 式 者
使徒信条	(9 3 - 4 - A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	4 7 2 「朝ごとに主は」	一 同
説 教	「何ものにも縛られない心」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	5 2 9 「主よ、わが身を」	一 同
献 金		”
主の祈り	(9 3 - 5 - A)	”
頌 栄	2 4 「たたえよ、主の民」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
報 告	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	司 式 者
讃 美 歌	9 2 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「神の御心のために」

(使徒言行録 4: 13 ~ 31)

ユダヤの指導者たちは、主イエスを抹殺し、不安の芽を摘んだつもりであったが、聖霊を受けた弟子たちがキリストの名によって癒し、教えるのを前に、再び不安を覚え、ペトロとヨハネを捕らえて二度とキリストの名によって活動することがないようにと脅しをかける。「十字架につけられて殺されたくなかったら、我々の言うことに従え」と言うのだ。

釈放された二人が仲間に一部始終を話すと、それを聞いた一同は神に祈りをささげたと言う。彼らが祈ったのは、「彼らの手から我々を守ってください」「脅しを取り除いてください」ということではなかった。彼らは、「御言葉を語る」ことによって、命の危険にさらされていたにもかかわらず、さらに「思い切って大胆に御言葉を語るができるように」と祈りをささげた (29 節)。何故彼らはそのように祈ることができたのであろうか？

彼らは、自分たちがどんなに恐ろしい事態にあっても、自分たちが神の御手の内にあることを確信している (4: 28 参照)。彼らがあのように祈り得たのは、この確信の故であろう。その確信があったからこそ、彼らは恐れの中に立ちすくみ、身動きできなくなることなく、御心に従って「思い切って大胆に御言葉を語るができるように」と祈ることができたのだ。そして、このように彼らが祈った時、その祈りに応えるように、彼らのもとに聖霊の風が激しく吹き寄せ、聖霊に満たされた弟子たちは、いよいよ大胆に神の言葉を語り始めて行った (31 節)。

我々は、自分たちの身に降りかかる予期せぬ出来事、苦しいこと、辛いこと、悲しいことを前にする時、そこから逃れようとすることに終止しがちである。祈りにおいても、個人的な願いに終始してしまうことがある。しかし、我々は、弟子たちがそうであったように、自分たちが常に神の御手の内にあることを確信しつつ、御心を行うことを祈り求めよう。その時、神はその祈りに応えて、聖霊を豊かにお送りくださり、我々を御心を行う者とならせてくださるのだ。